



Taka Ishii

Gallery

1-3-2 5F Kiyosumi Koto-ku Tokyo #135-0024, Japan  
tel 03 5646 6050  
fax 03 3642 3067  
web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)  
email [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com)

## 伊藤 存

### 「潮の動きとこだわりのない置き物」

会期：2011年7月9日（土）～8月6日（土）

会場：タカ・イシイギャラリー（東京・清澄）

オープニング・レセプション：2011年7月9日（土）18:00～20:00

タカ・イシイギャラリー（東京・清澄）では、7月9日（土）から8月6日（土）まで、伊藤 存「潮の動きとこだわりのない置き物」展を開催いたします。

今度の展覧会では、1999年に一度制作した「しりとりおきもの」の続きと、最近始めている鉛筆のドローイングを同時に展示します。

しりとりは最後に「ん」の付く言葉以外を、ずがいこつ>つくし>しこく、という様にしりとりしていきます。「しりとりおきもの」とはこうやって、並ぶことになった様々な物（事）を言葉の状態から、おきもの化し、質量のある状態にする作業です。また、おきもの化することで様々な物（事）に平等に空間を共有させる事が出来ます。

鉛筆のドローイングでは、潮の満ち引きの様子を、絵らしく、いらなと思ったものは省きつつ、わりと任意な手の動きで描いてみます。これは、周期的な潮汐に個人の（鉛筆の）時間を落とす作業でもあります。

性格の異なるこの2つが同時にあると場はたいへんへいたんになるし。

伊藤 存

本展では、伊藤の造語である「しりとりおきもの」という名の粘土で作られた置き物が並び、壁にはモノクロームの鉛筆画が展示されます。ここ数年の展覧会では、布に刺繍を施した作品をはじめ、アニメーションや小さな立体作品を比較的多く発表しましたが、今回は「置き物と鉛筆画」という新しい試みに取り組んでいます。さらに、今年にはMOCA Taipei（台北）でのグループ展、水戸芸術館 現代美術ギャラリー（水戸）での「カフェ・イン・水戸 2011」展、国立国際美術館（大阪）で開催される「世界制作の方法」展に参加いたします。

展覧会情報：

■ 「Invisbleness is Visibleness - International Contemporary Art Collection of a Salaryman-Daisuke Miyatsu」展

会期：2011年7月8日～9月4日 会場：MOCA Taipei / Museum of Contemporary Art Taipei (台北)

<http://www.mocataipei.org.tw/blog/post/27051679>

■ 「カフェ・イン・水戸 2011」

会期：2011年7月30日～10月16日 会場：水戸芸術館 現代美術ギャラリー、広場 (水戸)

<http://arttowermito.or.jp/gallery/gallery02.html?id=120>

■ 「世界制作の方法」展

会期：2011年10月4日～12月11日 会場：国立国際美術館 (大阪)

<http://www.nmao.go.jp/>

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さいませ。

プレス担当：増山貴之

tel: 03-5646-6050 fax: 03-3642-3067

e-mail: [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com) website: [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

